

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きつずるーむクローバー				
					公表日	令和8年1月16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		・個別対応やクールダウンできる場所や設備があると良い	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3		・玄関は少しだが段差がある ・出入口に段差があり、利用時には職員のサポート必要であるため改善が必要 ・トイレ環境の改善は実施予定	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・室内で走り回ったりは出来ないが、公園や体育館など工夫している ・毎日の掃除と、気づいた時にそれそれがゴミを拾ったりしている ・毎日清掃消毒を実施しており、実施方法も見直しを行っている ・チェックシートを活用して定期的に点検を実施	・全ての蛇口がセンサー付きではなく衛生面に欠ける	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・個別に対応している利用者さんもいる	・必要なときには使用しているが、すべての要望にこたえきれない	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎日のミーティング、毎月の全体会議、適宜業務改善会議、等で実施		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・年2回の面談、利用希望調査、を計画的に実施		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員面談、業務改善会議、毎日のミーティングを実施	・より積極的に業務改善が実施できると良い	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		・保護者による自己評価以外はできていないため実施できると良い ・未回答2名	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・その都度、懸命に取り組んでいます ・オンライン研修、集合研修など、積極定期に参加。また、外部講師を招聘し他事業所と合同で研修会を実施		
支援プログラム	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・マンネリ化しないように、楽しみながら学びもあるプログラムを日々考え反映させようと努力しています ・毎月の会議にて前月プログラムの振り返り及び次月プログラムの協議確認して作成。HPにて公表		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・職員間の情報共有には充分な時間をさいていると思います ・誕生日に本人と職員との面談を行なっている ・1日2~3回のミーティング、子どもに対しての本人面談、ご家族との定期面談、等にて実施		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・定期的な会議にて協議検討し、作成		

適切な支援の提供	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・定期的な会議や日々のミーティングにて共有	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・アセスメント表を用いて確認。	・今後アセスメントの見直しも検討できれば良い
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・職員間で話し合い、作成前に内容の確認 ・プログラム提供書を作成。ミーティングにて役割、手順、体制など確認	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・プログラムは固定だが、新しいものも取り入れるようにしている ・新しい活動や、既存の活動を派生させるなどしている ・実施内容の見直しを行うなど、適宜変更。 また新しい活動を取り入れるよう会議等で協議している	・利用者さんのニーズを取り入れようと頑張っています
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・1日2～3回のミーティング確認共有し、連携を図る	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・時間を決めて、ミーティング・振り返りにて実施。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・記録のとり方などを適宜確認見直しを行っている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・計画的なモニタリング及び会議にて実施	
関係機関や保護者との連携	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・日々のミーティングにて支援の振り返りを実施	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・個別ケースにより、必要に応じて連携	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	3	・一部の学校で情報共有の場がある	・出来ている学校とそうではない学校もある ・今後、他の学校と計画的に情報共有が図れると良い
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・就学前に訪問、情報共有している	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
児童発達支援事業所	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・他事業所と交流する機会を作っている	
児童発達支援事業所	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		未回答1名

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・お迎えの時に話すようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・出入り口に情報共有の案内や掲示物を提示	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・家族との定期的な面談、子どもとの面談を実施して思いを確認	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・定期的な面談以外にも必要に応じて面談の機会を設けて対応、また送迎の際にお話しする機会を作って対応	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1	・保護者参観日 ・保護者参観日を実施	・その他交流の場を設けたが参加がなかったため、今後は時期や内容の検討が必要 ・未回答 1名
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・体制を整備し、見えやすい場所に掲示	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・定期的にHPに掲載	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・配慮の下、必要に応じて対応	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・避難訓練の案内を配布し、参加していただく ・地域の防災訓練や行事に参加し、地域の方とのコミュニケーションを大事にしている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		・もっととりまなければ、と考えてはいる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・計画的に訓練を実施	・必要な備品について見直し、順次整えていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		・未回答 1名
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		・指示書まではない ・医師の指示までは受けていない ・指示書のない方においては今後整えていく必要がある ・未回答 1名
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		未回答 1名
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・見えやすい場所に掲示	未回答 1名
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・引き継ぎで話すようにしている ・ヒヤリハットの活用方法や手順の確認見直しを実施。発生後には当日に共有し検討	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	講師招聘による研修会の実施及び外部研修会への参加 ・虐待チェックシートやミーティングによる振り返りの実施	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		未回答 1名